

平成27年

明けましておめでとうございます。



南木曾町議会議長

高橋 進

あけましておめでとうございます。

日頃は議会活動にご理解、ご協力を賜っています事に紙面をお借りして、感謝申し上げます。

昨年は多くの自然災害が発生し、町内をはじめ全国各地にて大きな被害が発生しました。2月の大雪、7月の豪雨、9月の御嶽噴火、11月の神城断層地震などで、年末には四国地方も大変な大雪でした。今年は控えめにとお願いしたいものです。

ご存じのように木曾南部は急峻な風化花崗岩の山々と、年間3000ミリに迫る雨の多い地域であり、過去には蛇抜け災害が多く発生しました。先人諸氏の努力のおかげもあり、昭和53年から木曾川左岸につきましては国交省の直轄砂防工事が行われるようになり、災害も少なくなりましたが、7月9日の梨子沢を中心とする南木曾町豪雨災害では尊い若い命が失われ、また周辺の住宅や農地も被害を受ける大きな災害となってしまうました。改めてお見舞い、お悔やみを申し上げます。

平成13年に南木曾・大桑・上松の3町村議会による「木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟」が設立され、砂防事業の推進のため国交省等への要望活動を行っています。昨年の50年ぶりの大きな災害の発生を心に刻み、さらに防災のための活動を強化してまいりたいと思います。

国道19号をはじめ国道256号、木曾川右岸道路、田立く坂下や妻籠く馬籠へ通じる県道などの改良につきましても、国交省とその出先機関、県庁や建設事務所、また岐阜県の関係機関などへ

の要望活動を続けています。同時に、財務省への要望も行っていただくところ。

住民の皆さまの安心安全な生活にむけて、今年も引き続き議会活動に精進いたします。

さて、南木曾町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。2005年に設立され、現在55町村・地区で構成されています。加盟条件は、人口が1万人以下で、美しい農山村風景や歴史的な建造物があり、それを大切に守っていることで、5年毎の再審査には昨年合格しています。登録している地域資源は、妻籠宿の伝統的な町並保存、与川地区の歴史の道を中心とした山村風景、近代化遺産である桃介橋（桃介橋は田立地区の田園風景に変更予定）が登録されています。

昨年10月に開催された福島県会津地方の北塩原村での美しい村連合フェスティバル（総会）に参加しましたが、今年度は木曾町での開催が予定され、全国各地から300人を超す方々が木曾を訪れることとなります。南木曾町を全国の皆さんに良く知っていただける最高の機会であり、議会といたしましても積極的にPR活動に努めたいと思います。

リニア中央新幹線建設が国交省より認可され、工事が始まりました。議会では「リニア新幹線対策特別委員会」を立ち上げて対応をしています。町の「リニア中央新幹線対策協議会」の意向を確かめながら、住民の皆さんの声が反映できますよう、また南木曾町にとって「結果として良かった」となるよう努めて参ります。

むすびになります。町政全般につきましてもわからない事や疑問に思う事などございましたら、お近くの議員や議会事務局まで気軽にお尋ねください。私たち議員は住民の皆さまの負託に沿ってお応えできますよう、更に研鑽を重ねて参ります。

今年には災害の無い平和な南木曾町でありますよう、合わせて町民各位のご健康ご多幸をご祈念申し上げます、議会を代表しての新年のあいさつとさせていただきます。

11月臨時会・12月定例会の報告

11月臨時会は11月25日、12月定例会は12月11日から19日までの会期で開催されました。

- ・年頭のごあいさつ…………… 12 p
- ・11月臨時会報告(11/25)…………… 13 p
- ・議案、請願・陳情(12/11・19) …… 13~14 p
- ・一般質問(12/11)…………… 15~18 p
- ・広域連合議会報告…………… 18 p
- ・松塩筑木曾老人福祉施設組合議会報告 …… 18 p
- ・補正予算審議(12/19)…………… 19 p
- ・全員協議会(12/11・19)…………… 20~24 p

11月臨時会

議案

●一般職の職員の給与に関する条例の改正

26年度人事院・長野県人事委員会の勧告による給与改定に伴い、一般職の給与に関する条例改正を行うものです。

●特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例等の改正

国の特別職の職員の給与に関する法律の改正に伴い、特別職の職員で常勤の者、教育長及び議会議員の期末手当の支給率の改正を行うものです。

●一般会計及び特別会計補正予算

主に、人事院勧告に伴う人件費の増額、衆議院解散による衆議院議員選挙経費の計上及び災害復旧関係経費の見込みによる補正です。

3名が受賞

長野県町村議会議長会自治功労者表彰

高橋進議長、勝野春喜議員、山崎隆二議員の3名が、長野県町村議会議長会自治功労者表彰を受賞しました。

町村議会議員として、高橋議長、勝野議員は18年以上、山崎議員は10年以上在職し、功績のあった者として表彰されました。

●会計別補正予算

(単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計(第6号)	20	4,023,134
簡易水道事業特別会計(第5号)	△ 4,223	198,040
下水道事業特別会計(第2号)	191	74,065
農業集落排水事業特別会計(第2号)	476	71,917
浄化槽市町村整備推進事業特別会計(第3号)	△ 99	102,183
後期高齢者医療特別会計(第2号)	88	80,186

12月定例会

議案

●国民健康保険条例の改正

健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産一時金「39万円」を「40万4千円」に改定するものです。一時金に加算される産科医療補償制度の掛金も3万円から1万6千円に改定されるため、支給総額42万円に変更はありません。なお、医療補償の内容は拡大していません。

●福祉医療費給付金条例及び町営住宅等に関する条例の改正

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律が施行され、法律名称が変更されたことに伴い関係条例を改正するものです。

●建物の取得

南木曾岳公衆トイレ
南木曾町吾妻164番

地1
金額 3244万7721円
取得先
一般社団法人信州・長野県観光協会 理事長 野原莞爾

●通信制単位制高等学校審議会設置条例の廃止

ヒューマンアカデミー高等学校が平成26年3月31日をもって閉校となったことから廃止するものです。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

国では質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保及び地域の子ども・子育て支援の充実を目的として、27年度から子ども・子育て支援新制度を開始する予定です。

これに合わせて南木曾町でも施設等の運営に関する基準

を条例で定めるものです。

保育園については新制度での運営となりますが、放課後子ども教室については従来どおりです。

保育園の保護者への説明は2月から行う予定です。

承認案件

●町有林野経営事業計画の承認

平成27年度事業内容は、下刈(田立下安)、間伐(読書日陰ボケ)、鳥獣害防止(田立下安)です。

請願・陳情

●横田めぐみさん拉致事件に関する陳情

横田めぐみさんの人命人権を擁護すべきことの陳情です。

提出者

日本軍海兵隊 片木 豊

内容

横田めぐみさんの人命人権を擁護すべきことの陳情です。

結果

議員への資料配布

●介護従事者の処遇改善を求める陳情書

内容

介護従事者の処遇を改善し、処遇改善費用は、保険料や利用料に転嫁せず国費で行い、処遇改善の対象職員を介護職以外の関連職種にも拡充することを要望するものです。

提出者

長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子

結果

採択・意見書送付

●安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

内容

看護師などの労働環境を改善すること、医師・看護師・介護職員などの大幅増員、患者・利用者の自己負担を減らすこと、地域の実情に必要な病床機能確保することを要望するものです。

提出者

長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子

結果

採択・意見書送付

●地域振興・地域林業の確立に向けた「山村振興法」の延長と施策拡充に係る要請について

内容

「森林・林業基本法」による施策の展開を踏まえつつ、都市と山村の格差是正を主眼とした対策に加え、地域山村が果たす多面的機能の發揮に係る国としての責務を明確にして、「山村振興法」の延長と内容の充実を図ることを要請するものです。

提出者

中部地方森林労連 全国林野関連労働組合中部地方本部 執行委員長 後藤 弘二

結果

採択・意見書送付

●耐震診断・耐震改修に関する陳情書

内容

特定建築物及び公共建築物の耐震診断と、耐震改修の推進を要望するものです。

提出者

一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 木曾支部長 田島 信久

結果

趣旨採択

●最低制限価格の設定に関する陳情書

内容

建築物の設計・工事監理業務等を入札により発注する場合には、「最低制限価格」を発注予定額の85%以上に設定することを要望するものです。

提出者

一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 木曾支部長 田島 信久

結果

趣旨採択

●国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書

内容

建築物の設計・工事監理業務の発注に当たっては、建築士法の規定に基づく業務報酬基準の大臣告示が見直されたことに伴い、新しい基準「告示第15号」によって行われることを要望するものです。

提出者

一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 木曾支部長 田島 信久

結果

趣旨採択

●私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書

内容

私立高校の就学支援金制度の拡充と経常費補助の増額や、教育条件改善のための施設・設備費の補助、授業料軽減補助の増額を要望するものです。

提出者

中信地区私学助成推進協議会 会長 犬飼 浩一

結果

採択・意見書送付

12月
定例会

町政を問う
5人の議員が質問



山崎 隆二

人口減少、定住化、企業誘致バイオマス発電事業、リニア中央新幹線問題などに前向きな姿勢で取組むべき

質 南木曾町の人口は減少の一途で4600人を割ったが、住んでもらいたい町にするための企業誘致を含む定住化対策について、町長のリーダーシップが見えないとの町民の声が多い。

答 人口増加の町には雇用が必要ですが、わが町には雇用がありません。中津川市のベッドタウンとして宅地造成や集合住宅事業も行うが、住宅の除去も必要です。

災害がありすぐには難しい。「安心安全のまち」というPRをしないと住んでもらえません。

質 民間では、農業体験を通じての交流を行っているし、インターネットを使って田舎に居ながら都市部の会社の仕事をするなど、働き方も多様化しており、雇用を創生するリーダーシップと、来たい、住みたい南木曾町となる「価値」、物を売るだけでなく、ここでしか体験できない価値を感じてもらえる町づくりが必要だ。

答 交流人口では定住化にはつながりません。南木曾町には平らな土地が少なく、企業誘致はしにくい。

質 蘭に計画されているバイオマス発電事業では、既存の工場跡地の利用を計画しており、そういう土地の活用方法もある。

バイオマス発電は、原発依存から脱却する代替エネルギーの一つであり、日照障害木の除去や、民有林の整備も町の監視のもとで森林の切りすぎをさせない範囲において進める。環境被害防止の監視も行った上での話だが。後ろ向きでなくプラスの面にも着目し、町の誘致企業の一つとしてはどうか。

答 民間の事業なので、私が入り込んで張らなくても、完成した時点では雇用も増えるし、固定資産税の減免などの優遇策を取る考えはあります。

質 リニア中央新幹線問題では、環境に対する不安の声が多いが、国策として着工が決定している現在においては、マイナスマンばかりに注文するだけでなく、工事が終わるまでに県道・右岸道路・町道、交差点が改良され、リニア駅への在来線本数が増えるなどの良い結果をもたらすような積極的対応が大切ではないか。

答 リニアについては、工事中に飯場ができて消

費が上がるのか、完成した後の観光面などプラス面はあると思いますが、現段階では工事に伴う住民のリスクを最小限にするという姿勢でJRと交渉に臨んでいます。

質 土砂運搬の行く先がきまっていらない段階ではあるが、例えば蘭川左岸の林道を使ってベルトコンベアで常時土砂を運搬することで国道256号のダンプの通行台数を減らす提案をしていくなど、問題に積極的に取り組むという前向きな姿勢が町長には必要ではないか。

答 メリットばかり言っているよりも、今は頑張って住民のリスクを減らす努力をしていきます。

意見 一緒に苦しみながらも前向きに問題に取り組んでいく姿勢が大切であり、住民が少しでも希望を持つよう目線を上に向けて暮らせるよう努力されたい。

質 「まち・ひと・しごと創生法」の主旨によれば、来年度予算に伴い総合戦略の策定が必要になるのではないかと、どのような対応を考えているか。



坂本 満

地方創生の可能性と取り組みについて

答 地方にはまだ資源があります。資源をどう活かすかということでの創生法を解釈すると、有効なものだと思っています。計画は町も当然立てます。多くの地方公共団体がかかえているのは少子化です。この町独特のものが入るような計画になればと思っています。

質 町において「地域創生」に関わる集約化あるいは広域化などの施設統合の計画、検討はあるか。

答 広域連携や地方の中核都市を中心とした連携の話には出ていますが、現時点ではそこまで考えていません。27年度に国、県から示され、その中で検討する部分があると思います。何年かかってでも計画を立てたいと思います。

消費税再増税の先送りによる影響と対応

質 消費税率引き上げ時期の先送りで、町の財政収入や、住民に直接影響するものは。

答 消費と地域経済のお金の動きなどが相まって税収は出るため、個人消費だけで判断するのは難しい面があります。

法人割等は町内企業その年の利潤等に影響されるので、単純に消費だけでどれだけの影響があるかを具体的に示すのは難しい。

意見 住民からは暮らし向きが悪くなっているとの声を聞く。子育て支援、福祉などに取り組んで欲しい。

「また訪れたい町」への取り組みについて

質 駅前や妻籠宿など以外の地域でも、観光案内看板の老朽化、表記が古いなどの不具合が目立つ。観光の町として、事故につながるようなことがないように整備を。

答 観光産業は町にとって中心部分なので、必要に応じて対応します。中山道は外国人旅行者が増えており、英語表記を置いて設置しています。基本的には既存看板の更新を中心に進めていきます。地域や旅行者から新たに設置を求められているものも、現地確認の上で対応します。

質 文化財施設の整備、老朽化への対応などは、周辺を含めて町から支援を行うことはできないか。

答 地域振興協議会から要望のあった文化財の看板の立て直しには対応したい。古くなった看板は順次替えていきたい。

質 「美しい村」を地域資源登録している場所だけでなく拡げて、住民の意識の中に位置付けていくという考え方はないのか。

答 今年から美しい村連合の理事をしています。町民への啓発はやっていかなくてはならない活動の一つです。

質 登録地域資源を、桃介橋から田立花馬へ替えたいのか。

答 田立の花馬の地域資源への登録は、町から変更申請し、来年2月の理事会で協議、5月総会で認定され変更になる予定です。



花馬祭り



松原 崇文

災害復旧について

質 現在の通学路について、工事中の通学路の保護者への説明について伺う。

答 スクールバスは、梨子沢沿いの道路が狭いためバスの通行に苦労しています。積雪時に、通行できない場合は、大宗土建前の三叉路での乗下車を予定しています。徒歩の児童で、梨子沢の北の児童や、川向の児童については県道の梨子沢橋を通らず、等覚寺へ上がる道を通り上の梨子沢橋を通っています。これについては保護者へもお願いしてあります。工事中の対応については、まだ工事内容が具体的に決まっていなため、決まり次第、施工者と協議をします。保護者との懇談も機会があれば説明します。

質 完成時の通学方法は決まっているのか。また、

そのことについても保護者の意見を聞く場があるのか。

答 通学方法は、これから検討します。昨年、駐車場入口の改修と舗装を行い、観光バスが入れるようになりました。災害復旧した後にも観光バスが入れるように願います。保護者の意見も機会があれば聞いていきます。

意見 バスについては、現状より良くなるようお願いする。

公用車等の購入時の選定について

質 どのように車種などを決めているのか。

答 原則として、10年もしくは10万キロ以上で更新を考えています。利用目的などを考え、各課で希望を出します。

質 消防車についてはどうですか。



小型動力ポンプ付軽積載車

答 消防車については、20年を目安に考えています。元々あった車の形式を判断材料に選びます。

質 最近、新しくした軽の搭載車は、4人乗りのため団員が安全に移動することができると、坂道が多い南木曾で、ミッションをオートマチックにしたのはなぜか。

答 この車種は、オートマチックが標準です。オートマ限定免許の関係もあります。また、オートマチックだから力がないことはないと思います。

意見 4人乗り、ポンプが乗ると、車への負担がかなりある。安い買い物ではないので、20年使うことを考えると、疑問が残る。車種の決定は、いいものにするためにいろいろな意見を聞くようにして欲しい。



早川 親利

紙類の分類方法の変更について

質 広報で、この12月から紙類の分別方法が変わるお知らせがあった。可燃ごみは、木曾郡全体で6370トンあり、その内紙類は1900トンを占めている。ごみの減量と、リサイクルを推進するため、可燃ごみと別に出して欲しいとのことである。分別の品目、出すときの注意点、雑がみなど出せるもの出せないものが細かく説明してある。また、回収場所は、町が指定した7箇所である。可燃ごみとは別で、7箇所に出すとすると、車のない人

お年寄りなどは出すことができない。段ボール回収時に、紙ごみも一緒に集めることはできないか。

答 今回、木曾郡全体で循環型地域づくりリサイクル事業として始めました。リサイクルできる古紙である新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パックの他に新たに雑がみ加わりました。段ボールは月1回各地区で回収しています。段ボールと一緒に回収する方向で検討します。

リニア中央新幹線開通後の町の姿について

質 リニア中央新幹線工事着工の認可申請が許可され、各地で説明会が始まった。説明の中でJR東海は、リニア中央新幹線は、地域振興に資する事業であると言っているが、町にとってどのようなメリットがあるか。

答 開通しないとわかりませんが、JR東海の話では雇用関係が増え、中津川東京間が近くなることによりIターンする人が増え、こ

らで起業する人が増え、観光面でもルートが拡がり観光客の増加があるなどのメリットがあると聞いています。

質 開通しなければわからないとのことだが、開通する前にどのようなメリットがあるかにより、何を目玉にして進めるかが必要だと思う。町には、2箇所の非常口が計画され、180万m²の土砂が運び出される計画が示された。非常口を1箇所にする要望、180万m²の土砂の運搬方法、土砂のストックヤードの場所、騒音、埃、トンネル掘削による水洩れなど環境問題、観光への影響などの心配があり「リニア中央新幹線対策協議会」を設置し官民一丸となって対策に取り組んでいる。工事着工前、工事中の様々な要望、協定書の取り交わしは大変重要なことである。リニア新幹線が開業した時、町もリニア新幹線とともに変わるために、どのような要望や取組みを考えているか。

答 在来線の強化、右岸道建設の促進、駅舎の利用等を考えています。

質 町長の重点施策の一つに若者定住化を掲げているが、中津川にリニアの駅が出来ることにより、関連施設や商業施設なども沢山出来ることである。雇用も増え、周辺の土地も値上がりする。南木曾に住んでもらうために、宅地造成事業や住宅建設事業が必要と思う。ただ土地が安い、家賃が安いだけでは住んでもらえない。通勤時間の短縮のため、通勤時間帯に南木曾まで快速電車の延長を要望する、世界的に注目される外国人観光客が増えている妻籠宿玄関口である南木曾駅へJR職員の配置などを要望する考えはないか。

答 今後、関係機関へ要望していきたいと思

います。



北原 隆光

消防委員会の設置について

質 わが町の人口は年々減少しており、消防団員の減少にも繋がっている。消防団は町の安全安心の一番大切な基となり、住民もお世話になっている。今後の消防行政の円滑な運営を図るため、現在は機能していない消防委員会を新しく設置する考えはないか。

答 以前はありましたが、自立を選択した時、必要がないと判断し現在はありませんが、今後、組織の見直しなど必要性がある時に諮問委員で対応していく予定です。

質 広域消防の火災放送について、住民や団員から番地では火災場所がわからないと聞く。人命に関わることであり、個人名(屋号)で放送することはできないか。

答 町でも、そのようにはできないか消防署と協議中です。目標物を的確に設定するよう進めています。

植樹祭について

質 今年は実施されなかったが、来年度は実施するか。

答 今年は災害もあり、実施できませんでしたが、町単独で例年通り計画する予定です。山の手入れの必要性をPRしながら育樹なども実施したいと思います。

意見 近年は参加者も少なく、特別な人だけ招待し、4〜5本植えるだけの植樹祭が多くなっているが、木を植え、育て、加工する、全て含んだイベントを計画して欲しい。

質 漆畑地区の町有林と256号トンネル下部、改良された道路へミツバツジや花桃、モミジなどの植樹が提案されているがどう考えるか。

答 観光客を増やすことにもなり、良いアイデアかと思えます。地元から計画が出されましたら支援したいと思えます。

木曾広域連合 11月定例議会報告

職員給与に関する条例の改正
 人事院勧告による一般職給与の改定に係る条例改正です。

副管理者の給与及び旅費に関する条例の改正
 人事院勧告による副管理者給与の改定に係る条例改正です。

平成26年度一般会計補正予算(第5号)
 2105万8千円を追加し総額29億5246万8千円となりました。主に、人事院勧告による人件費、御嶽山災害対応経費の補正です。

平成26年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
 歳出の当該款・項間で25

27万円を組み替えました。主に、給付費の科目間での組み替え補正です。

松塩筑末曾老人福祉施設組合 11月定例議会報告

監査委員の選任について
 監査委員上条光明氏(塩尻市)の退任に伴い、平沢恒夫氏(山形村)を選任しました。

平成25年度一般会計歳入歳出決算の認定
 歳入合計は47億1021万円(前年度比3.0%増)、歳出合計は46億9364万円(前年度比3.1%増)で、実質収支は1656万円(前年度比11.5%減)です。

歳入では、サービス収入が全体利用で前年度比15%減です。財源に不足を生じ、財政調整基金を、昨年度より53百万円多い8千万円繰り入れています。

歳出のうち民生費は前年度比5.1%の増ですが、太陽光発電設備設置事業やピア山形の大規模改修事業の実施によるものです。

施設の利用率は全体で前年

度比14%減、サービス収入も64百万円の減額でした。公債費は一部起債償還の終了で前年度比2.8%の減となっています。

平成26年度一般会計補正予算(第1号)
 1500万円を増額し、総額44億6800万円となりました。主な歳出は、財政基金積立金828万円、人事異動に伴う人件費、2月の大雪に関するものなどです。

平成27〜29年度の実施計画の提示
 あすなる荘関係では、せせらぎ棟の改修の基本設計が27年度に計画されています。また、重い介護度の利用者ニーズへの対応として、各施設の短期入所定員を削減し施設入所定員を増やす見直しを検討されています。あすなる荘では、施設入所定員6名増、短期入所定員6名減が提案されています。

あすなる荘関係では、せせらぎ棟の改修の基本設計が27年度に計画されています。また、重い介護度の利用者ニーズへの対応として、各施設の短期入所定員を削減し施設入所定員を増やす見直しを検討されています。あすなる荘では、施設入所定員6名増、短期入所定員6名減が提案されています。

12月定例会 補正予算審議（抜粋）

Q 山崎議員

災害被災住宅のその後の追跡調査とケアはどうか。

A 会計管理者

被災された世帯の方は、町営住宅のほか、民間の住宅や親族宅で生活されています。

A 住民課長

心のケアとしては町の保健師が巡回訪問しています。

Q 北原議員

消防費150万円増額しているが、恋野防火水槽の水利整備によるものか。

A 総務課長

敷地の造成、防火水槽給水方法の変更など。それぞれの事業を一括して行います。

Q 矢澤議員

障がい者グループホーム建設予定地は。

A 住民課長

住吉町の旧古澤邸の場所です。今回の補正は、既存の建て物撤去費を計上しました。

Q 北原議員

グループホームの今後の建設計画は。

A 住民課長

2月頃、建物除去工事を発注し、秋頃から建設工事に入り、開所は28年度の予定です。

Q 松原議員

公営住宅修繕費220万円の内訳は何か。

A 建設環境課長

長坂、上仲、新町、尾越各団地の修繕費です。

Q 山崎議員

鳥獣被害が増加し対策費を増額しているが、駆除の状況はどうか。

A 産業観光課長

11月末現在、イノシシ88頭、ニホンジカ33頭、サル36頭、クマ3頭です。件数が増え、山林被害、農作物被害、人的被害も増えており、檻を設置したり、追い払い犬を飼ってもらえる人を探しています。

Q 早川議員

保育所耐震改修費で、約1600万円減額の理由は。

A 住民課長

田立保育園の耐震改修工事が11月半ばに完成し、建設工事費などの不要額が確定しました。

Q 勝野議員

妻籠宿の観光客が減っているが、博物館の収入はどうか。

A 教育長

博物館の収入も減っており、厳しい状況です。

Q 伊藤議員

町道大妻籠上平線は平成12年から山側を30m削って欲しいとの要望が出ているが。

A 建設環境課長

地元と協議していきたいと思えます。

Q 坂本議員

与川線の工事が延びている箇所があるが状況は。

A 建設環境課長

2カ年で計画しています。27年度には保安林解除の許可をもらい発注したいと思えますが、目途は立っていません。

Q 坂本議員

通学路である国道の歩道や歩道橋、南木曾駅南側の跨線橋の除雪はどうしているか。

A 建設環境課長

国道は国へ、県道は県へお願いしています。駅の南側の跨線橋は融雪剤を設置し、地元で対応をお願いしています。

Q 早川議員

阿智村で満蒙開拓団を題材にした「望郷の鐘」の映画が

公開された。南木曾町でも上映する考えはないか。

A 教育長

今のところ町では計画していませんが、実行委員会等の上映を検討していただき、町も支援したい。

意見 早川議員

ぜひ、公民館などを主体に計画してほしい。

一般会計補正予算 1億5404万円を減額 総額 38億6909万4千円に

●会計別補正予算 (単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計(第7号)	△ 154,040	3,869,094
国民健康保険特別会計(第2号)	9,668	515,446
簡易水道事業特別会計(第6号)	4,900	202,940
妻籠宿有料駐車場特別会計(第3号)	441	42,057
下水道事業特別会計(第3号)	138	74,203
農業集落排水事業特別会計(第3号)	259	72,176
浄化槽市町村整備推進事業特別会計(第4号)	△ 925	101,258
後期高齢者医療特別会計(第3号)	△ 4,287	75,899

●一般会計補正の主なもの (単位：千円)

事 業 名	金 額
障がい者グループホーム建設予定地建物除去工事費	5,500
田立保育園改修事業の実績による減	△ 15,996
河川公園等の松くい虫防止薬剤費及び公衆無線LAN整備費用等	1,119
恋野防火水槽整備事業等	1,500
農業用施設災害復旧事業(実施設計費用増等)	5,930
橋梁災害復旧事業(梨子沢橋本復旧工事が次年度以降に実施等)	△ 105,850
河川災害復旧事業(国県等による災害復旧事業となった)	△ 14,300

12月11日

全員協議会(抜粋)

子ども子育て支援新制度のための条例制定

業者が町であるため、町と利用契約を結ぶことになる。なお、「家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準」と「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」については、町内には現在該当する施設はないが、将来の可能性に対応するため制定する。

現在、子ども子育て会議を開催し、27年度から31年度までの「子ども子育て支援事業計画(案)」を策定中である。※広報なぎそ8〜9P参照

伊藤議員

Q 改正では、保育を国や町の措置制度としてきたものを、利用制度に変えるもので、大いに問題がある。消費税を財源とする中で、10%への先送りであるか。町の保育所については大きな変化はないとしているが、国の補助金の確保や、利用者である保護者にとっての負担は大丈夫か。

A 保育料については、1月下旬頃に保育所審議会を開く予定で、子ども子育て会議委員に対してもその旨の説明をしました。

保護者の申請により保育の必要性の認定をし、8時間保育か11時間保育にするかの契約を締結することになります。全保護者に向け2月中旬から説明をし、4月の体制に備えます。

町では園児バスを出している特殊事情もあり、保護者が月120時間以上就労しているても、園児バスに乗れるように短時間保育に移ることは可能であるため、状況を踏まえて契約していきたいと考えます。

Q 保護者の負担は増えざるを得ないのか。

A 保育料は、町の設定価格と国では若干違いますが、町の現行保育料を基準に考え、審議会に提案したいと考えます。

Q 園児が何人以上いないと国の補助がなくなるとかの心配はないのか。

A 保育所の経費は、保護者からの保育料と、国からの交付税により保育所に給付されるため心配ありません。

北原議員

Q 3つの条例を制定し、保育は新しい制度に移行していくということか。

A その通りです。現行の施設も利用し、少ない保育所の対応をしていく方向です。これから、問題点を精査し、審議会です十分な議論と説明をしていきます。

山崎議員

Q 学童保育の施設面と対応に問題はないか。南木曾会館では施設が混在しており、別の場所を検討するべきではないか。

A 放課後児童健全育成事業については、国の基準で制定するもので、当町には該当しませんが、将来的に可能性が出てきた段階で、南木曾町の内容に合うものに協議して定めていきます。

梨子沢災害復旧事業

概要 7・9南木曾町豪雨災害による梨子沢流路工の災害復旧事業について、木曾建設事務所の向山秀樹整備課長より主に県関係の復旧計画の説明があった。内容は10月30日に開催された地元説明会の資料に基づいている。

応急工事と並行して測量、ボーリング調査、設計を順次進めている。県関係の災害査定は2回実施され、査定金額は約20億円(胡桃田沢を含む)である。

地元説明会では7月31日に被災状況及び流路工の概要、8月29日に梨子沢上流域の全体計画について国の直轄と林野庁の説明、10月30日には流路工の関係について復旧方針が説明された。改良部分の詳細は準備が整った時点で説明する予定で、改良部分以外は地元の理解を得ている。準備が整ったところから順次工事を始めたい。なお、JR鉄道近接部の護岸工整備は、本復旧として8月に先行実施した。梨子沢流路工の復旧計画は

概要 検討する条例案は3つで、子ども子育て支援法や児童福祉法の規定に基づく「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」、「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」を国の法令に合わせて定めるものである。27年4月から始まる子育て支援の新制度では、これまでの制度を見直し、保育所・幼稚園のほか、認定こども園や地域型保育などが加わる。新制度では市町村が「保育の必要性」を認定し、利用者は事業者と契約し保育サービスを受けることになる。保育時間は家庭の実状に合わせた保育必要量が設定され、市町村毎の実情に応じて利用者負担が決まってくる。町内の保育園の場合には事

3年以内に完成させる目標である。基本的には原形復旧、元の形に戻すということで申請している。その中で県道梨沢橋上流の川の流れが曲がる所は大きな被災原因であるため、直線化を図る方向で検討している。

東町砂防堰堤から木曾川までの流路工は延長約600mで、下流、中流、上流の3つの工区に分けて工事する。

下流と上流区間は被災箇所を基本的に元に戻す計画であり、護岸などは被災前と同様の構造であるが、被災で河床が低下した箇所では下がった河床の高さに合わせるため、部分的に河床が1.5mほど低くなる計画である。

県道梨沢橋と町道梨子沢橋付近間に当たる中流区間では、梨子沢を左岸側（小学校側）に寄せて直線化する。このため左岸側の町道は右岸側に付け替え、左岸側には幅2mの歩道を設ける計画である。

県道梨沢橋は桁が破損しており現在の位置での架け替えを予定しているが、架け替え後は前後の道路の線形変更を考えている。地権者、町と調整して計画ルートを決めたい。石積みの東町堰堤は、破損

がひどく取り壊して新設をする。上流の転石の大きさを考慮し、堰堤の天端の厚さは2mから4.5mに強化する予定である。この堰堤工事に際しては、一時的に林道の切り廻しを行う。

大梨子沢上流の昭和46年に県が設置したコンクリート堰堤では破損が確認されている。既設堰堤の破損部は補修し、補強のために10mほど下流に高さ14・5m程度の堰堤を新設し、既設堰堤との間をコンクリートで固める計画である。

この梨子沢堰堤は10億円程度かかるため県議会の承認を経て、3月に契約、工事は4月頃からの予定である。

流路工関係は、木曾川から県道梨沢橋までは、1月上旬に契約、工事は2月頃からの予定である。

県道梨沢橋は、今年度内に設計と用地関係を進め、4月に工事発注する予定である。県道から上の流路工は、多治見砂防国道工事事務所とも調整しており、準備が整った段階で地元説明会を行い発注へと進めたい。

木曾建設事務所への質疑

山崎議員

Q 今回、河川断面で収まらない土砂がカーブで溢れた。河床を1.5m下げても越流の心配があるとすれば、「護岸堰堤」の設置は考えられないか。

A 多治見砂防で現地調査をし、上流の不安定土砂に対応するため、3、4号基の堰堤を新設する計画です。最終的には今回の土石流を国が中心で検証し、今後どのくらいの土砂が流出するか、流域全体の計画を策定し、上流で土砂を抑えるための堰堤を増やすなどの検討が行われます。県で100年に1回の確率での流量計算をしていますが、土石混入率を5%見込んだ場合の流量が70トン/秒で、流れの高さは1.2mに相当し、流路工の高さは2.5mで、1.3mの余裕があるので今の流路工で十分間に合うことになりました。上流で土石を全て捕捉できれば今の断面で十分と考えます。最終的には国の調査などを待つて判断します。

Q 小学校付近での沢の直線

化は良い方法だ。道路取り付けは、現在の県道との取り合い部分や、学校へ曲がって橋を渡って行く隅切りの部分は大きく取り、バスが通れるようにする必要があります。

A 橋梁や取り付け部分の計画ができた段階で町とも調整し、その計画は入れていきたいと思っています。

勝野議員

Q 梨子沢の関係では2つの橋の架け替え、堰堤の新設、流路工の修復などの大工事である。いろいろな工事が錯綜するが3年間で終了は可能か。

A 工事業者による工事調整は必要になると思います。現時点では29年3月までに完成することが目標です。

Q 小学校の通学路であり、住民生活などに安心安全面での通行に関する配慮が必要だ。

A 業者と十分調整しますが、災害査定においても交通誘導員も計上しており、特に小学生の通学路になってるので、配慮をしたい。

Q 査定された予算20億円は、増えることはあるか。

A あくまで原形に戻す復旧事業で認められたものです。小学校付近の改良区間の左岸側については申請していないので額はまだ増えます。今回災害で認められた中での工費は、大きな増額はないと考えます。

坂本議員

Q 小梨子沢に新設される予定の4号堰堤から県の東町堰堤までの区間は護岸のない状態となる。その部分の土砂が下流に出てくるが、これから検討されるか。

A 建設環境課長 基本的には直轄砂防の区間です。護岸の整備については国へ要望しています。

Q 今回の土石流災害では大量の流木が出てきている。流木も含めた流量計算で検討しているか。

A 最終的には今回の土石流を踏まえて出てくる量を把握

した段階で、国でもその点を加味してやるのではないかと。

高橋議員

Q 県道梨沢橋から下は土地的には余裕がある。もう少し川を右岸側に拡げると川が真つすぐになるのでは。

A なるべく直線部を長くしたほうが安全ですが、3年以内に完成させる中では、補償物件等のこともあり、今回の起終点が最適だと考えます。

Q 島の平線の橋は町としては改修するのか。

A 建設環境課長 町としては災害復旧する予定です。将来的な被災土地の跡地利用が具体的になっていませませんが、進入路、町道として島の平線は必要ですので復旧を考えています。

Q 県道梨沢橋は今よりも下流側へ架ければどうか。

A この路線は重要路線で、工事用道路ともなるので、通行止めはできません。今回、下流に仮橋を架け交通を確保

し架け替えます。今の仮橋は撤去し国に返します。

早川議員

Q 右岸に新設する車道の幅は。

A 現道と同じ6m位を予定しています。

Q 県道梨沢橋の架け替えは、下流に本橋を架けて、今の仮設を利用して早く架けるのがよいのではないかと。

A 前後の道路の線形も含めてルート検討をしています。

Q 流路工の底面は50cmのコンクリート張りに30cm大の玉石を埋めるといふことだが、被災前と同じ厚さではまた飛ばされるのでは。

A 上流の土砂対策をしつかりし、大きな土石が出てこないようにします。

松原議員

Q 町道梨子沢橋の右岸の付け替え道路に歩道は付けるのか。

A 現在は考えていません。

Q 県道との取り付けは下流側の東町下線との交差点になり十字路となるのか。

A この交差点の関係は計画図ができた段階で調整を考慮します。

Q さまざまな災害復旧工事はどこを先に始めるのか。

建設環境課長

A 町の関係は、細の洞橋、島の平橋、東町下線については、年明けに発注予定です。国交省の第3号、第4号の砂防堰堤は施工業者が決定しています。小梨子沢の第1号の災害復旧も業者が決まっています。※県については概要参考

山崎議員

Q ソフト面の対策として、今後危険のあるところは県で砂防指定することは考えていないか。

A 施設の入る部分以外を砂防指定するのは難しいと考えます。

Q 100年確率があるにしても、危険と思われるところはそういう検討も必要ではないか。

A 砂防課へ話しをし、町に報告します。

南木曾岳公衆トイレの概要と取得

概要 環境保全型のくみ取り式トイレ1棟、洋式便器2基で、設置場所は、南木曾岳山頂避難小屋隣。木造一部鉄骨の平屋、床面積3.92㎡で、土壌処理方式のし尿処理設備は70㎡である。

取得先は一般社団法人 信州・長野県観光協会（県観光施設整備事業）で金額は3244万7721円である。し尿はバクテリアにより汚物が分解され、液化・消臭されたものが沈殿分離槽に行き、土壌処理槽で浄化した水を再び水洗に用いる仕組みである。

北原議員

Q 標高1600mあるが凍結の心配は。

A 冬の間は凍結の恐れがあるため閉鎖します。

伊藤議員

Q 維持管理がシーズン中必要だが、水は常時あるのか。

A 登山道も含めて維持管理をしてきている人がいるので、トイレの維持管理もお願いする予定です。トイレの横に雨水タンクがあり、掃除はこの雨水をくみ上げて行います。

坂本議員

Q 汚泥の残さは分解して無くなるのか。

A 沈殿して何年か経つとくみ取ります。南木曾岳の利用状況から20年、30年くみ取らなくてもいいと考えます。

12月19日
全員協議会(抜粋)

平成27年～29年度の実施計画

概要

消費増税の延期による社会保障、介護・子育て支援などの見直しが余儀なくされ、地方財政計画にも影響し、町の財政見直しも不透明な中で、町の財政力指数は0.231で6年連続減少しており、実質公債費比率は9.5%に改善しているが、災害復旧のための公債費の増加が見込まれる。今回、災害復興事業に全力で取り組むため、大型事業を見直しつつ、創意工夫を持って住民ニーズに応えられる緊急・投資効果の高い事業を優先した平成27～29年度の実施計画が町から示され、これについて審議した。

山崎議員

Q 町はこれまで公債費の縮減に励んできたが、今は繰り上げ返済を一時止めて事業に使うための留保財源の確保に

回すべきではないか。また、人口減少などで町の基準財政需要額は減少していくはずだが、交付税の算定は大丈夫か。

A 財政調整基金の取り崩し、決算表預金の積み立てなどで対応しています。交付税については、指摘の内容も今回の財政計画では見込んでいます。

Q 旧妻籠小学校は土砂災害等特別警戒区域にあり、妻籠分館建設では防災工事に多額の費用が掛かるのでは。

A 危険箇所は避けて建設するよう計画します。

意見 後ろの崖と同じ高さ分を後退して建設するなど、安全面に配慮されたい。

勝野議員

Q 地方創生計画策定費用の内容は。委員会を作る予定は。

A 年暮れの閣議で、地方創生戦略が決定され、26年度補正予算と27年度一般会計予算に入るのを待って、実施計画を見直す必要があります。委員会を作って審議する時間は

ありません。

意見 地方創生のために長期的展望に立って計画して欲しい。

Q リニア関連で、環境影響調査費の内容は何か。調査は長期的に行って欲しい。

A 水、大気などについて、町としてもJR以外に必要な箇所を決めて調査します。リニア工事に関係してJR東海に正当な交渉が出来る調査を行うっていく考えです。

伊藤議員

Q 妻籠分館建設計画と旧妻籠小学校解体整備の概要は。

A 計画は災害による財政面や地元協議の状況などから2年延期します。ソフトバレーができる広さのホールを持った分館という提案、分館北の元プールの下に活断層があるとの話から、分館建設地を旧妻籠小学校跡地にした方が良いという提案などがあります。

Q 定住化対策としての子育て支援の内容は何か。

A 放課後子ども教室や親子の広場の拡充、インフルエンザや風疹などの予防接種、不妊治療などへの助成。移住・定住促進セミナーへの参加、住宅リフォーム助成、保育料の20%還元などです。

北原議員

Q 蘭保育園改修事業の内容は。また、工事の時期や期間中の臨時保育所はどうなるのか。

A 蘭保育園は遊戯室だけ残して小規模にした場合、旧蘭小学校を活用した場合など検討しましたが、現在の施設の改良が最も安く、約1億円の見込みです。工事への対応については保護者会と相談の上で決めたいと思います。

Q 役場庁舎への太陽光発電設置は急ぐ必要があるか。太陽光では雨天・夜間の災害時に機能しないのでは。

A 以前から設置が必要との声があり、売電事業ではなく、災害対応など蓄電池設置を含む非常用電源の確保です。県

の補助があるうちに設置する考えです。

Q 南木曾駅観光案内所運営費の内容は。案内所に町の職員が交代で勤められないか。

A 運営費は人件費です。切符販売経費を参考にして算出しています。町職員の派遣勤務は職務に支障があるので難しいと思われます。

坂本議員

Q 福祉避難所の備品購入について、他の避難所での活用も可能か。他の避難所対策は。

A 福祉避難所となる3カ所の福祉施設に折りたたみベッド、毛布、ウレタンマットなどを配備し、他の避難所からの要支援者の受け入れなどに対応します。

役場と社会体育館には、避難所となる集会所などで常備しにくいもの、毛布、安眠セットや酸素吸入器使用者の停電時の発電機など備えてあります。

Q 地域おこし協力隊の増員計画について、定住をもっと、

働きかけるような募集をしてはどうか。

A 定住してくれることを前に考えます。

早川議員

Q 定住化拡充のために宅地造成事業を望む。また、移住・定住促進セミナー参加とは。

A 加盟している県の「信州楽園協議会」が行っている大都市での移住希望者への情報提供活動への参加計画です。

意見 畑付きの宅地を用意するなど、受け入れ体制を整備して参加すべきだ。

Q 災害復旧に合わせた小学校横の消防団詰所の移設先はどこか。

A 現在検討中です。学校敷地内での移転は安全管理上のこともあり無理と思われま

Q 町道天白線の改良工事が実施計画で毎回先送りになっているが。

A 全体計画の中で調整して

います。

松原議員

Q 子どものインフルエンザ接種はこの医療機関でも補助はできるのか。

A 来年度から、町と契約する町内や隣接の医療機関で接種した場合、中学生までを対象に、毎年一回につき1000円程度の補助を考えています。

高橋議員

Q 和合妻籠線の改良計画はわずか100mだが、和合坂も併せて調査されたい。

A 今回は、和合の「鳥獣の碑」から「神戸の家」までの区間を調査し、その中から改良を計画します。

Q 川向の大洞橋の改修は。

A 県と架け替え方法を検討中で、結論はまだ出ていません。

Q 放課後子ども教室の計画はどうなっているか。

A 登録者が80人程となりました。小学校の近くの適地を探しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律 (注:教育委員会制度の大幅な改正です)

概要 地方教育行政責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るため、教育委員長と教育長の一本化、県市町村に「総合教育会議」の設置、教育大綱の首長策定など、平成27年4月から施行される法律についての説明と議論を行った。

山崎議員

Q 首長の教育行政への関与が強まるという改正内容だが、南木曾町長としては今までどおり教育機関の意向を尊重するとの認識でよいか。

A 新法を考えた人と南木曾町の現状とは認識が違うのではないかと。今の形で十分機能しています。今後も教育委員会

を尊重していきたいと思えます。

伊藤議員

Q 教育行政は、戦後一貫して行政と独立して行われてきた。今回の改正で新教育長に全ての責任がかり、任命した首長の考え方を尊重するようになるのでは。

A 教育委員長と教育長が一本化されることになりましたが、これまでの体制で問題はなかったため、今後も教育委員会を尊重します。

町営妻籠宿有料駐車場特別会計

概要 南木曾町豪雨災害、御嶽山噴火などもあり、町営妻籠宿駐車場の収益が悪化している状況について報告があった。

山崎議員

Q 妻籠宿の保存事業と、駐車場事業とは切り離して考える時期ではないか。

勝野議員

Q 経年的にも収益は減っている。妻籠宿の保存と観光について検討する場はあるか。

A 妻籠宿を保存していくことが観光の主であり、その基本線は崩さないほうが良いという観点から、駐車場の運営と保存事業への活用を検討したいと思います。

議会の傍聴にお越しく下さい

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。詳しい日程などについては、音声告知端末放送、ケーブルテレビにてお知らせします。
※12月の議会は、2日間で4人の傍聴がありました。